

学都いしかわ FD・SD共同教育プログラム設計の基本枠組

2013.9.27プレストまとめ

FD・SD共同教育プログラムメニュー	目標 【メニューの到達目標】	対象 【職域・階層】	内容 【具体的テーマ・内容】	方法 【実施主体】 【実施形態・時期】	評価 【評価対象・評価方法】
1 授業設計・教育方法	<ul style="list-style-type: none"> ●到達目標を明確化し、学生に主体的な学びを促すことができる。 ●授業内容・形態に応じて、多様な方法で教えることができる。 ●学生の能力に応じて、授業を柔軟にデザインすることができる。 	FD	<ul style="list-style-type: none"> ●シラバス作成 ●授業デザイン ●大人数授業設計 ●PBL設計 ●実験・実習指導方法 ●アクティブ・ラーニング ●ファシリテーションスキル研修 ●協同・協調学習 ●ワークショップのデザイン ●学習意欲の植え付け方 ●学習方法の教え方 ●リメディアル教育 ●英語による授業作法 	共同 (ワークショップ) (合宿研修)	
2 公開授業・授業映像共有	<ul style="list-style-type: none"> ●授業力を高める。 ●同僚教員の授業方法を評価することができる。 	FD	<ul style="list-style-type: none"> ●授業参観 ●研究授業 ●授業映像共有(DVD作成ほか) ●授業のNG集 ●Good Practice(ベスト・ティーチャー)の紹介 ●学生(受講者)の視点を知る ●異なる分野の授業方法を知る ●異なる大学の様子を知る 	単独又は共同 (模擬授業) (シティカレッジ授業の活用)	
3 新任(若手)教員研修	<ul style="list-style-type: none"> ●大学教員としての基礎知識を学び、行動することができる。 	FD	<ul style="list-style-type: none"> ●大学教員の意義・役割 ●自大学の建学の理念 ●大学教育の歴史 ●教育方針 ●研究倫理、倫理観 ●研究を教育に結び付ける ●キャリア意識 ●協調性 ●事務処理の理解・責任 ●教授法の基礎 ●学生理解の基礎 ●青年心理・発達の科学 ●認知心理学、学習科学の基礎 ●TA活用法 	共同	
4 成績評価(基準)・達成度測定・ルーブリック・学修ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ●適正な成績評価を行うことができる。 ●成績評価基準を説明することができる。 ●学生の学びを把握し、きめ細かい指導を行うことができる。 	FD	<ul style="list-style-type: none"> ●成績評価基準 ●診断(準備)、形成、総括評価 ●観点別評価(ブルームの3領域) ●テスト作成方法 ●ルーブリック分野別研修(開発・試行) ●真正の評価を目指す ●教員と学生の両者の評価の突合せ ●学修ポートフォリオ事例紹介 ●自己評価・ピア評価 ●正課外活動の到達度測定 ●学びの統合(自律的・持続的学習) 	共同	

学都いしかわ FD・SD共同教育プログラム設計の基本枠組

2013.9.27プレストまとめ

FD・SD共同教育プログラムメニュー		目標 【メニューの到達目標】	対象 【職域・階層】	内容 【具体的テーマ・内容】	方法 【実施主体】 【実施形態・時期】	評価 【評価対象・評価方法】
5	各種機器を使った教育の工夫、 多様な学習環境を活用した教育の工夫	●教育ツールや学習環境の意義・目的を理解し、学生の学習を促進することができる。	FD	●ICT活用 ●電子教科書、タブレット ●クリッカー ●電子黒板 ●LMS(moodle等) ●学習環境デザイン ●ラーニング・コモンズ ●図書館ラーニング・スペース	共同又は単独	
6	授業評価アンケートのあり方(実質化)	●授業評価アンケートの意義・目的を理解することができる。 ●授業評価アンケートの効果的活用を考えることができる。	FD・SD (教務委員レベルの研修)	●授業評価アンケートの目的や位置付けの理解 ●授業評価アンケート項目の検討 ●授業評価アンケート結果の活用方策、公開	共同	
7	教学マネジメント	●全学的な視点で、教育課程を構成することができる。 ●教学マネジメント能力の向上	FD・SD	●ディプロマポリシー明確化・実質化 ●カリキュラム構成能力 ●カリキュラムデザイン ●教務と裁量、規則(教務事務との協働)	共同	
8	調査・情報収集	●最新の政策動向、教育研究事情を理解することができる。 ●地域の課題解決のため、各種調査企画をすることができる。 ●最新情報又はニーズのある情報を収集することができる。	FD・SD	●近年の高等教育行政の動向 ●先進教育事例調査報告 ●他県の先進的事例調査 ●石川県での高等教育シンクタンク ●最新情報の教育現場実践へのフィードバック ●海外の大学等との連携推進 ●産業界との連携推進	共同	
9	教員・職員・学生の対話、教職協働	●大学構成員が相互理解することができる。 ●大学構成員の自己意識を高めることができる。	FD・SD	●教員・職員・学生の対話の場 ●共創フォーラム ●教員・職員の信頼関係 ●マネジメント研修 ●教職員懇話会(カフェ) ●教職員・学生共同プロジェクト(課題解決型) ●学生参画型FD ●学生生活実態調査の反映	共同	
10	学習支援・学生支援	●適切な学習支援・学生支援を行うことができる。 ●学習支援・学生支援の各種方策を理解することができる。	FD・SD	●学習データの理解、活用 ●アカデミック・アドバイザー ●ライティングセンター ●キャリアカウンセリング ●学生相談の充実 ●ピア・サポート ●保護者対応	共同	

学都いしかわ FD・SD共同教育プログラム設計の基本枠組

2013.9.27プレストまとめ

FD・SD共同教育プログラムメニュー		目標 【メニューの到達目標】	対象 【職域・階層】	内容 【具体的テーマ・内容】	方法 【実施主体】 【実施形態・時期】	評価 【評価対象・評価方法】
11	企画力	<ul style="list-style-type: none"> ●問題発見手法を実践できる。 ●情報をグループ化できる。 ●問題解決提案を行うことができる。 ●企画を効果的にプレゼンできる。 	SD	<ul style="list-style-type: none"> ●講演会の開催(企画、業務の流れ) ●デザイン思考ワークショップ ●ファシリテーション体験、向上研修 ●グループワーク ●企画力養成、企画経験 ●スケジュールの立て方 ●ミーティングの運営の仕方 ●実現性の推測 	共同	
12	キャリア	<ul style="list-style-type: none"> ●自身のキャリアプランを立てることができる。 ●スタッフ・ポートフォリオをまとめ、理解を深めることができる。 ●キャリアプランを実現するための計画を作成することができる。 	SD	<ul style="list-style-type: none"> ●ペルソナを利用し、キャリアプランを作成 ●コーチング講習会 ●リーダーシップ向上セミナー 	共同	
13	(キャリア形成を支える)スキル	<ul style="list-style-type: none"> ●大学人、社会人としての基礎力を身に付ける。 	SD	<ul style="list-style-type: none"> ●講習会の開催 ●ビジネス文書、メールの書き方 ●ビジネスマナー研修 ●コミュニケーション、対人折衝スキル ●プレゼンのスキル ●文書整理術、議事録の書き方 ●新任(若手)職員研修 	共同	
14	ITスキル	<ul style="list-style-type: none"> ●ICTを利用して、業務を効率化することができる。 	SD	<ul style="list-style-type: none"> ●講習会の開催 ●ITスキル(Ever note活用など) ●会議でのiPad活用 ●ITスキル(エクセル、アクセス) 	共同	
15	ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ●大学人としてのネットワークを構築する。 	SD	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月各大学職員が集うダベリ場の提供 ●教務事務交流会 	共同	
16	大学経営・EM(エンrollmentマネジメント)・IR	<ul style="list-style-type: none"> ●大学等の経営管理を担うことができる。 	SD・FD	<ul style="list-style-type: none"> ●トップによる講演会 ●大学のガバナンス(仕組み) ●私立大学の経営 ●管理職のためのマネジメント ●法令の理解 ●労務管理研修 ●エンrollmentマネジメント(EM、IR)、中退予防など 	共同	
17	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ●補助金の情報収集・学内体制・申請書作成テクニックを身に付ける。 	SD・FD	<ul style="list-style-type: none"> ●実践事例に学ぶ ●研究支援(科研費、産学連携) ●補助金業務 ●予算、補助金説明会 ●リサーチ・アドミニストレーター研修 	共同	
18	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ●危機に際しての対処方法を身に付ける。 	SD・FD	<ul style="list-style-type: none"> ●学生の事件事故の対応マニュアル ●危機管理(学生をキャンパス外への送り出し) ●災害対策 ●自大学のリスクを見える化 ●初動体制を学ぶ ●ハラスメント ●苦情対応 	共同	

★アイデア整理・具体化のフレーム

8.27プレストまとめ

	FD・SD共同教育プログラムメニュー	目標 【メニュー の到達目標】	対象 【職域】 【階層】	内容 【具体的テーマ・ 内容】	方法 【実施主体】 【実施形態・時期】	評価 【評価対象】 【評価方法】
1	シラバス・授業デザイン・授業の仕方	例)シラバスの意義や構成要素について理解し、適切なシラバスを作成することができるようになる。	FD	例)①授業設計、インストラクショナルデザイン ②大人数授業の工夫、多様な学生の対応策	共同	
	リメディアル教育					
	PBLの工夫					
2	公開授業・授業映像共有		FD		単独又は共同	
3	新任教員研修(共通化)		FD		共同	
	大学教員の基本					
4	成績評価(基準)・達成度測定・ルーブリック・学修ポートフォリオ		FD		共同	
5	各種機器を使った教育の工夫、多様な学習環境を活用した教育の工夫		FD		共同又は単独	
6	授業評価アンケートのあり方(実質化)		FD・SD		共同	
7	学習デザイン		FD・SD		共同	
8	調査・情報収集		FD・SD		共同	
9	教員・職員・学生の対話の場		FD・SD		共同	
	教職協働(信頼感)					
10	学習不振者対応		FD・SD		共同	

★アイデア整理・具体化のフレーム

	FD・SD共同教育プログラムメニュー	目標 【メニュー の到達目標】	対象 【職域】 【階層】	内容 【具体的テーマ・ 内容】	方法 【実施主体】 【実施形態・時期】	評価 【評価対象】 【評価方法】
11	企画力	例)現場の諸課題を理解し、新たな企画立案を行うことができるようになる。	SD	例)①企画力養成研修 ②ファシリテーションスキル養成研修	共同	
12	キャリア		SD		共同	
13	(キャリア形成を支える)スキル		SD		共同	
14	ITスキル		SD		共同	
15	マグネット(つながり、ネットワーク)		SD		共同	
16	大学経営・EM(エンロールメントマネジメント)・IR		SD・FD		共同	
17	補助金		SD・FD		共同	
18	危機管理		SD・FD		共同	
	マインド					